



避難所運営ゲームの様子

入山辺地区防犯・防災協議会、入山辺公民館主催で6月13日に「地域の防災力をアップしよう!!」をテーマとして防災講座が開催されました。長野県危機管理防災課の古越武彦氏が講師となり、町会役員や消防団等を中心に89名が参加をしました。

最初に平成30年の西日本豪雨災害や平成28年に起きた熊本地震の被害状況等を学び、大雨・土砂災害から身を守るためのポイントや実際に避難する際に注意すること等を講演していただきました。大雨・

地域の防災力アップ!! 防災講座開催!!



館報
いりやま

令和元年7月1日現在

世帯数	866戸
男	962人
女	1,004人
総人口	1,966人

土砂災害から身を守るためのポイントとして「住んでいる場所の地形を知る」「気象情報・避難情報を知る」「前兆現象に気づく」ということが挙げられました。また熊本地震では亡くなった方が多くが災害の直接の被害によるものではない災害関連死に由来のものとの話もありました。災害時の基礎知識を学んだ後、避難所で起こる様々な出来事を模擬体験する「避難所運営ゲーム(HUG)」をグループに分かれて行いました。

被災者に見立てたカードを避難所にどのように配置していくのか、また避難所を運営していく上で想定される課題についてグループで話し合いました。

講座後のアンケートでは「答えを出すのが難しかった。」「疑似体験をすることは大切だと思った。」「定期的に継続していくことが大切だと思う。」「等様々な意見がありました。

東日本大震災や熊本地震、西日本豪雨災害など日本各地で大きな災害が起きています。災害は当然のことながらいつどこで起きるか分かりません。そのため私たちにできることは災害に備えて準備をすることです。個人で準備できることや地域で準備できることが様々あります。災害が起きることを防ぐことはできませんが、災害に備えることで被害を減らすことはできます。災害が起きた時にどうするのか、何が必要なのか、皆様のご家族や地域の中で話し合い、いつ起きるか分からない災害に備えていきましょう。

松本市防災連合会より表彰

この度松本市防災連合会より入山辺地区で団体・個人の表彰がされました。

団体の表彰では東桐原町会が表彰されました。東桐原町会では「松風園」については平成20年頃から、「ゆめの里入山辺」については平成26年の開設時から火災、震災、その他の災害時における人命の安全並びに被害防止を図るために協力体制を確立しています。年2回行われる施設の防災訓練時には、町会長、防災部長、公民館長、総務部長、施設周辺住民10名程度が夜間等職員の手薄な際に助け出すことを想定して避難誘導の訓練を行い、町会として見守り協力体制を整えています。

個人の表彰では西桐原町会の西澤辰一さんが表彰されました。西澤さんは平成20年から現在まで西桐原町会の防災部長を務めており、平成27年までの8年間は入山辺地区防災部長会長として、防災思想の普及徹底に努めるとともに、防災部長会の発展に寄与されました。さらに、平成23年から5年間は松本市防災連合会副会長として職務を遂行されました。

そこで次のように感想をいただきました。

始めに、災害のない平和な日々が続くように願っています。

先日5月28日、松本市防災連合会の総会がありました。今年も沢山の各地区の防災部長を始め、消防署の署長の皆さん全員が出席されました。自分も令和元年も災害のないことを願って出席致しました。今年の防災部長の表彰は9名で長い人は22年も役職につい

ておられました。自分は平成18年と19年の2年間西桐原町会長をお受けしました。その後より今日迄の12年間防災部長をお受けすることになりました。今年の表彰者は9名で女性も1人居りました。幸いにも今日までの間大きな災害もなく平和な日々が続いています。これからも松本市及び入山辺地区全体が災害もなく、地区の皆さんと一緒に災害事故のないことを願っています。

終わりに、火の取り扱いには十分注意して下さい。



西桐原防災部長 西澤 辰一

東桐原防災部長 木下尚子さん
(前列一番右)
西桐原防災部長 西澤辰一さん
(前列右から二番目)

第18分団だより

松本市消防団第18分団は現在、加納第27代分団長以下60名にて、活動を行っております。

歴史的には入山辺村の時代から私達の爺さん、父さんと代々受け継がれてきた伝統ある組織です。今も受け継がれる「郷土愛」と「入山辺地区の皆様の生命財産を守る」志は先輩方から受け継がれる消防の心構えです。

また、消防活動は昼夜問わず火災、災害出動、行方不明者捜索など厳しい面もありますが、仲間同士の励ましや、先輩・後輩と関わり合いの中で育まれる絆など自分だけでは気付かない事も若いながらも次第に気づき、育まれていると思います。

厳しい訓練でせっかくの休日も消防活動に当て何かと大変ですが、その中で培う仲間との絆は一生ものであることは、大先輩方が証明しています。

第18分団の団員構成は、三役、部長、班長、団員からなり、年齢層は、20才前後から40過ぎまでの幅広い構成です。幅広い年齢層との、関わりは良い刺激となります。

ここで、第18分団の各部紹介と担当地区の範囲を説明し

ます。

本部三役は、加納分団長(千手)、赤澤副分団長(三城)、百瀬副分団長(包石)です。

自動車部は、赤羽部長以下11名で、入山辺全域をカバーし構成団員も全域から募られています。第1部は、平林部長以下6名で、橋倉、南方地区です。第2部は、中澤部長以下8名で、西桐原、東桐原地区です。第3部は、原山部長以下8名で、千手、駒越、北入中部、舟付、宮原地区です。第4部は、中野部長以下13名、三反田、上手町、原、厩所、奈良尾です。第5部は、朝倉部長以下11名で、大和合、大仏、一の海です。

第18分団の定員は71名ですが、現在のところ欠員が11名もいる状態です。広大な地域を守る為に設定された定員ですが、若い担い手がなかなか集まらないのが第18分団を含め消防団全体の悩みです。

あまり難しい事はありません。地域の仲間として、また消防団組織を媒体とし、地域への貢献と地元の仲間との絆を結んでみましよう。頼もしい仲間と共に入山辺を盛り上げてみませんか。

第18分団としての独自の年間行事として、入山辺地区の



令和元年度ポンプ操法大会の様子

山林パトロール、分団訓練、水出し訓練・救命訓練や、ポンプ操法大会に向けての訓練、また、東山ブロックや、全団訓練と、年間を通じ訓練を行いながら、万が一の出動に備えています。

最近の出動状況としましては年次に数件出動しましたが、他入山辺地区においては、他の地域と比べ出動回数は少ない地域です。これも地域の皆様の協力があつての事です。

火災を出さない、火は消えるまで責任を持ち、これからも災害の少ない地域としてご協力下さい。

第18分団では、団員を毎年募集しております。女性消防団員も歓迎します。団員募集については先に書きました各地区の各部長又は、本部三役まで連絡を下さい。

また、昨年度は本部にポンプ車1台、4部に積載車1台が新しく更新されました。

修学旅行の思い出



山辺小学校 6年4組 瑠梨さん 原山

五月十五・十六日に修学旅行へ行きました。一番初めに国会議事堂に行きました。国会議事堂はもう二度と行けないかもしれないから行ってうれしかったです。

国会議事堂の次にデイズニールランドへ行きました。デイズニールランドは初めて友達と行ったのですごく楽しかったです。

二日目の一番初めに行ったのは体験学習で、私は木目込みストラップを作る予定だったのでバスで体験学習の所へ移動しました。木目込みストラップを作る時は細かい作業がたくさんあったけど、完成したらすごくかわいい作品ができたので良かったです。

次にスカイツリーに行きました。スカイツリーにはガラスの床があるので乗ってみたらすごく怖かったです。みんなと仲良く修学旅行に行けたので良かったです。

町会対抗球技大会結果

5月26日(日)に「町会対抗球技大会」が開催されました。結果は次の通りです。

男子ソフトボール
優勝 橋倉町会

準優勝 三反田・奈良尾町会
第三位 上手町会

女子ソフトバレーボール
優勝 南方町会

準優勝 三反田・奈良尾町会
第三位 上手町会

